

「VMware Cloud Foundation」と「VMware Hybrid Cloud Extension」を 採用した Enterprise Cloud の提供について

～VMware Cloud Verified Partner として、両社の協業をグローバルに加速～

NTT コミュニケーションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：庄司 哲也、以下 NTT Com）は、VMware, Inc（本社：アメリカ カリフォルニア州、CEO：Pat Gelsinger、以下 VMware）との協業拡大の一環として、VMware の統合ハイブリッドクラウド基盤「VMware Cloud Foundation」※1、および「VMware Hybrid Cloud Extension」※2の双方を企業向けクラウドサービス「Enterprise Cloud」（以下「ECL」）に採用し、新しいメニューを2018年8月8日より日本で提供開始後、グローバルに展開します。

同時に、NTT Com は、VMware Cloud Verified Partner※3に認定されます。これにより、クラウドサービスにおいて10年以上に及ぶVMware との協業をグローバルに加速し、さらなるお客さまのデジタルトランスフォーメーションに貢献していきます。

1. 背景と概要

近年、デジタルトランスフォーメーションの進展により、システムの重要度に応じてオンプレミス環境とクラウドを併用するハイブリッドクラウドの需要が高まっています。一方で、オンプレミス環境からクラウドへの移行には、構築稼働や作業リスクなど大きな負担が発生していました。加えて、顧客情報などの重要なデータを扱うシステムのクラウド利用にはセキュリティ面での課題もありました。

今回 NTT Com は、「VMware Cloud Foundation」と「VMware Hybrid Cloud Extension」の双方を採用した「ECL」と、グローバルに展開する企業向け VPN サービス「Arcstar Universal One」（以下「UNO」）やデータセンターサービス「Nexcenter」を組み合わせ提供し、オンプレミス環境からクラウドへの容易な移行やクラウド接続をセキュアに実現します。

<イメージ図>



2. サービスの特長

(1) オンプレミス環境からのセキュアで容易なクラウド移行を実現

「VMware Cloud Foundation」を採用した「ECL」を利用することで、オンプレミス環境上のVMware ワークロードを、既存のセキュリティポリシーや運用設計を変更することなく、専有型クラウドへ拡張できます。また、ECL の「VMware Hybrid Cloud Extension」の利用により、オンプレミス環境からゼロダウンタイムでのアプリケーションのクラウド移行やオンプレミス環境で運用中の「vSphere」^{※4}の最新バージョンへのアップデートが可能になるため、クラウド移行時の構築稼働や作業リスクの負担を大幅に軽減できます。

(2) オンプレミス環境とセキュアでシームレスに運用するハイブリッドクラウドの実現

「VMware Cloud Foundation」を採用した「ECL」を利用することで、お客さまはオンプレミス環境とクラウドを意識しない統合管理を行うことが可能となり、システム運用稼働の効率化や ICT ガバナンスの強化が実現できます。さらに、お客さま拠点やデータセンターなどのオンプレミス環境と専有型クラウドを「UNO」で接続することにより、基幹システムに求められるセキュリティ要件を満たしたハイブリッドクラウド環境を構築することができます。

3. 提供開始日

2018年8月8日

4. 今後について

NTT Comは、日本での提供開始後、これらのサービスを 2018 年度中にイギリス、ドイツ、米国へ順次展開します。今後も両社は、クラウドにおける協業をグローバルに進化させ、お客さまのデジタルトランスフォーメーションに貢献していきます。

5. NTT コミュニケーションズ株式会社 代表取締役副社長 森林 正彰のコメント

デジタルトランスフォーメーションの進展により、企業のオンプレミス環境からのクラウドシフトが急速に進んでいます。今回、VMware と当社のパートナーシップにより提供するソリューションは、まさにそれを実現するものです。両社の強みを生かし、お客さまから安心して任せいただけるセキュアで高品質なサービスを提供できると自負しています。今後も両社で新しい価値を創造し、お客さまに提供できるよう取り組んでいきます。

6. VMware, Inc. クラウドプロバイダーソフトウェア部門 上級副社長 Ajay Patel のコメント

企業のデジタルトランスフォーメーションを推進する上で、グローバルにセキュアで高品質なネットワークを提供するクラウド事業者の役割はますます重要になってきています。NTT ComとVMwareはお客さまのクラウドジャーニーに対するコミットメントとビジョンを共有しています。これにより、お客さまにシームレスでセキュアなクラウドソリューションを提供することで、経営リソースの最大化に貢献します。私たちは、NTT Comが非常にセキュアでVMware Cloud Verifiedと互換性のあるハイブ

リッドクラウドソリューションを提供することを歓迎します。

7. IDC グループバイスプレジデント Courtney Munroe 氏からのコメント

各企業がデジタルトランスフォーメーションを推進する中、アプリケーションとワークロードのクラウド化は重要な課題です。クラウドとオンプレミス間の高度な連携を可能にするハイブリッドIT環境への需要はこれまで以上に高まっており、それに伴いオンプレミス環境と同等の高度なセキュリティと統合運用を実現するクラウドプラットフォームが求められています。

企業が求めているクラウド、オンプレミス、データセンターを含むハイブリッドITに対するセキュリティとアジリティのニーズを満たすために、NTT Comが提供する「VMware Cloud Foundation」と「VMware Hybrid Cloud Extension」を採用した「ECL」は、これらのニーズに対応した素晴らしいソリューションです。

加えて NTT Com は、本ソリューション提供において、自社のグローバルに展開するネットワーク、クラウドプラットフォーム、データセンターの活用を通じ、ユニークなポジションを確立しています。

■VMware社について

VMwareのソフトウェアは、世界中のデジタル インフラを支えています。VMwareのコンピューティング、クラウド、モビリティ、ネットワーク、セキュリティの各製品は、世界中で7万5,000社のパートナーエコシステムを通じて50万以上の顧客にダイナミックかつ効率性に優れたデジタル基盤を提供しています。カリフォルニア州パロアルトに本社を置き、ビジネスと社会に貢献するVMwareの革新的なイノベーションの歴史は今年20周年を迎えます。VMwareの詳細は <https://www.vmware.com/company.html> をご覧ください。

- ※1： 「VMware Cloud Foundation」は、VMwareの仮想化ソフトウェア（コンピューティング、ストレージ、ネットワーク、セキュリティ）を統合した製品であり、お客さまシステムのクラウド上での構築や運用管理(パッチアップデート)を自動化する機能を有しています。
- ※2： 「VMware Hybrid Cloud Extension」は、オンプレミスのvSphereの環境から、最新バージョンのVMware Cloud Foundationなどへ移行できるVMwareのサービスです。
- ※3： VMware Cloud Verified Partnerは、VMware社のプロバイダー向け認定制度であり、VMwareの最新のテクノロジーを享受できることを保証しています。NTT Comを含むVMware Cloud Verifiedパートナーはマルチクラウド・マルチデバイス環境へのアプリケーションの対応を通じ、企業のイノベーション、効率化の推進、コスト削減を実現し、成長を実現します。VMware Cloud Verified のロゴは、VMware Cloud Verified Partnerが提供するVMware Cloud Infrastructure に対応しているクラウドサービスに適用されます。



- ※4： 「vSphere」は、VMware vSphere ESXiとVMware vCenter Serverを含む仮想化ソフトウェア群の総称です。

VMware、VMware Cloud、Cloud Foundation、NSX、VMware Cloud Provider、vCloud、vCloud Director、vSphere、vCloud Availability、Cloud Directorは、VMware, Inc.の米国および各国での商標または登録商標です。他のすべての名称ならびに商標は、それぞれの企業の商標または登録商標です。「パートナ」または「パートナシップ」という言葉は、NTT Communicationsと他社との法的な協力関係を示すものではありません。